

## 辺野古埋め立て土砂搬出反対ニュース

北九州連絡協議会《2016年10月9日・No52》

発行…南川健一 090-2853-7116 森下宏人 090-9495-3902 八記久美子 080-1730-8895



# 辺野古土砂全国協・第3回総会 in 天草 1億年前の地層のある採石場からも辺野古へ

天草・御所浦



総会ではたくさんの方から発言がありました

### ■内容豊かな第3回総会に、びっくり

「ともかくスタートした」奄美での第1回総会。「やっと役員が決まった」長崎での第2回総会。この間、走りながらいろんな事を取り組んできた辺野古土砂全国連絡協議会でしたが、今回の天草での第3回総会は、本当に「総会らしい総会」と言える内容でした。現地の皆さんの頑張りが、目に浮かびます。

1日(土)は、早朝からの事前会議・総会・全体会・交流会と、忙しいけれど、充実した一日になりました。



上は全体会、下は交流会の様子



### ■北九州から2名が参加

10月1日(土)天草において、全国連絡協議会の第3回総会が開かれました。いわゆる「総会」には、西日本を中心に、全国各地から約50名が参加。北九州からは、八記久美子と野田恵美が参加しました。以下、写真を中心に、総会の様子をご紹介します。



大正琴とギターのアンサンブル「ティンクルズ」の沖縄の音楽は、心に染みました。

### ■対岸の水俣からも報告が

160人が参加した全体会では、沖縄の北上田毅さんと浦島悦子さんが、沖縄が抱える問題点や地域の生活・文化を報告しました。

また、水俣からは永野隆文さんが報告されました。土砂搬出予定地の御所浦は、天草からは採石の様子が見えませんが、対岸の水俣からは、その全容がはっきりと見えるそうです。後日「水俣からも、御所浦の問題に取り組んでいく」という決意も聞くことができました。

夜の交流会では、さらに様々な方と交流を深めました。

## 《2日目のフィールドワークの様子》



御所浦の採石場。三角の部分は9800万年前の地層。右はその説明文。



白亜紀中頃の約9800万年前に堆積した御所浦層群烏帽子層と江の口層  
※汽水域：川が海に注ぎ込む河口部のような場所。干潮の陸よりの部分は汽水域になります。



隣の採石場。左手に積み上げられた岩ズリが見える。



みんなで記念写真



15000万年前の恐竜の糞



御所浦の採石場問題を組み立てられる地元の皆さんには、船からの説明（上や、公民館での詳しい報告（右）など、いろいろお世話になりました。左は、全体会で挨拶される様子。



## 総会では、次のこと等を確認しました。（一部紹介）

- 11月1日または2日に、2回目の署名の提出を、総理大臣あてに提出すること。
- 11月中旬には、鹿児島市で、全協として奄美大島の特定外来種問題での情報共有を行い、鹿児島県知事と沖縄県議会に陳情などを行うこと。
- 人事については、搬出地の参加団体から16人の役員が選出されました。さらに顧問についても、新しく沖縄の北上田毅さんと熊本の弁護士板井優さんが加わってくれました。

※議案の内容・会計報告・監査報告・役員については、全国協ニュース「つながる力・No.6」をお読みください。北九州に届き次第、発送する予定（10月末頃）です。

お手元にある署名用紙は、  
〒803-0816 小倉北区金田-3-32-308 八記方  
辺野古土砂北九州まで、お送りください。



11月に2回目の署名提出をします。  
10月末までに署名を事務局までお寄せ下さい。